

通 告 質 問 一 覧 表

(令和 7 年 6 月 定例市議会)

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
1	1 番 榎 隆 宏	1 普通財産の管理と活用について (1) 財産活用課ができたことで今までの財産管理とどう変わってくるのか (2) 普通財産の管理はどのようなになっているのか (3) 普通財産の活用はどのようなになっているのか 2 学校体育館及び体育施設について (1) 学校体育館への空調設備の整備が必要ではないのか (2) 利用者の多い体育施設や設備の更新をどのように考えているのか (3) 施設を利用する市内の青少年団体に対する減免はどのようなになっているのか
2	14 番 川 上 博 司	1 熱中症対策について (1) 障害者と高齢者の熱中症対策はどのようにしていくのか (2) 部活動の熱中症対策のため、中学校体育館にエアコンを設置すべきではないか (3) 市民プールの熱中症対策はどのようにしていくのか 2 直営の特別養護老人ホームについて (1) 鶴寿荘を他の法人に事業譲渡すべきではないか 3 税の申告相談について (1) 令和 6 年度の税の申告相談は、ほぼ完全予約制で税務課職員のみで実施されたが、申告会場によって問題が発生した。令和 7 年度はどのように改善して実施するのか
3	12 番 小 林 重 樹	1 高梁国際ホテルについて (1) 高梁国際ホテルの経緯について、その中でも平成 12 年の経営危機から現在に至った経緯及び内容について詳しく問う (2) 「観光宿泊施設の整備による交流人口の拡大に向けた導入可能性調査」報告書が出ているが、結論はどのような報告になっているのか (3) ㈱高梁国際ホテルから提出された「高梁国際ホテルの現状と今後の方向性について」の内容と市側の回答事項はどのようなものであったのか (4) 今後の㈱高梁国際ホテルと市の話合いが進んでいく中で、お互いの理解を深め、㈱高梁国際ホテルが将来も高梁市のシティーホテルとしてその役割を果たすため、市はどのようなビジョンを描いているのか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
3	12 番 小 林 重 樹	2 高梁市総合計画について (1) 令和7年度において前期基本計画が終わり後期に移っていくが、4つの基本方針と横断的政策の達成度を総体的にどのように評価するのか。また、後期へ事業をどのように引き継ぐのか (2) 後期基本計画を検討していると思うが、大枠としてどのようなものになるのか。また最重要施策として考えているのは何か
4	9 番 金 尾 恭 士	1 福祉施策について (1) 基幹相談支援センター、地域活動支援センター I 型の設置について問う ① 基幹相談支援センターは、全国的には市町村の 98%が設置している。市の考えを問う ② 地域活動支援センター I 型設置は、総合計画によれば、令和7年度には設置予定となっている。年度内開設について問う (2) ひきこもり支援の現状について問う ① 令和4年度にひきこもりサポートセンターが開設されている。令和6年度までの成果、課題を問う 2 観光施策について (1) 高梁国際ホテルの今後の経営継続について問う (2) ラ・フォーレ吹屋の経営再開の見込みについて問う (3) 観光DMOの運営について問う (4) 町家ステイ吹屋千枚2棟目の建設について問う 3 総合計画の見直しについて (1) 総合計画の後期基本計画について問う ① 総合計画前期4年間をどのように総括しているのかを問う ② 国は地方創生 2.0 の基本構想の策定に向け調整している。本市の後期基本計画は、コンサルタント任せにせず、市独自で策定すべきであるとする。市の対応を問う ③ P D C Aサイクルが機能しているのか。そしてK P I 設定の考え方を問う 4 道路の維持管理について (1) 町内会支援について問う ① 令和7年度の新制度によれば、道路両側の草刈り、道路ごみ・落石の除去、道路側溝の清掃、1 回のみ 1200 円/100m、2 回以上 1800 円/100mとなっている。昨年度までは2 回以上 1500 円/100mであったが、その基準の根拠を問う (2) 安心して市民が地域の道路の草刈り、維持に取り組むためにも市が傷害保険をかける必要があると考える。市の考えを問う

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
4	9 番 金 尾 恭 士	5 防災について (1) 市は、各種団体と防災協定を結んでいるが、実効性があるのかを問う 6 消防について (1) 防火水槽の水漏れの早期修繕について問う 7 教育施策について (1) 現在、高梁こども園建設 J V 工事事務所となっている旧高梁南幼稚園の家賃は月 100 万円である。設定の根拠を問う (2) 小・中学校におけるデジタル教科書の利用状況と今後の取組を問う (3) 小・中学校再編の現状について問う (4) 小・中学校の不登校の現状と対応について問う (5) これまでに統廃合された幼稚園、小・中学校の園歌、校歌のアーカイブ化と公開について問う。また、閉園、閉校後の書画、絵画、文書の取扱いについて問う 8 農業施策について (1) 川上町では、慣行農法ではなく自然農法に取り組んでいるグループがある。化学肥料と農薬を使わない自然農法は、今後拡大していくことになると思われる。市としての支援を問う
5	10 番 森 和 之	1 学童保育について (1) 民間委託を含めた現在の学童保育の状況はどうか (2) 利用が増える夏休みを迎えるが、対応はできているか (3) 学童保育の負担金は日割り計算をしないが、一律の料金から日割りで割引をすれば、利用する保護者にとってメリットがあり、人数が減れば支援員の負担軽減にもつながるのではないか 2 公有財産の活用について (1) 財産活用課が新設されたが、動きが感じられない。目標とする数値などを具体的にすべきではないか (2) 利用していない公有財産を様々な分野、角度から利用者、購入者を募ってはどうか (3) 高梁こども園の整備による、高梁幼稚園、高梁南幼稚園、高梁保育園の跡地活用はまだ決定していないのか 3 にぎわいの創出について (1) サバイバルゲームができる施設や場所を本市で考えてみてはどうか (2) スポーツ施設の利用を促進するため、施設改修が必要ではないか 4 市街地の町並みの保存について (1) 市街地の町並み保存は観光において欠かせないものだと認識しているが、市長の考えを聞きたい (2) 町並みの整備の財源をどう生み出していくのか 5 中山副市長について (1) 県職員としてのキャリアをどう本市に活かしていくのか聞きたい

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
6	6 番 長 田 伸 彦	1 地域医療のこれからに、市はどう向き合うのか (1) 本市の医療について方向性と個別的な課題について問う ① 国が打ち出した「新たな医療構想」について市としての認識を問う ② 遠隔医療について市の考えを問う ③ 救急車を呼ぶ判断を電話で聞ける体制整備ができないか ④ 成羽病院で新卒の訪問看護師を採用、育成してはどうか 2 市民の暮らしよい生活のためのデジタル技術の活用と行財政改革について (1) D X推進体制の見直しと今後の進め方について ① デジタル・未来戦略課を廃止した理由は何か。その後の体制について問う ② D X推進計画には、庁内の枠を越えて部署を横断するような体制づくりが書かれていたが、それは今も維持されているのか ③ D X推進計画は令和7年度で一区切りとなるが、これまでの取組の成果や課題について、市としてどう評価しているのか。令和8年度からの計画策定の予定はあるのか (2) 本市の行財政改革の中身と方向性を問う ① 現在どのような行財政改革の取組が進められているのか ② 若手職員の意見や提案は、行財政改革の中でどのように反映されているのか ③ 行財政改革を進める上で、市長自身のリーダーシップをどう発揮していくのか 3 小規模特認校の教育的価値と幼児教育の今後について (1) 市内の小規模特認校が積み上げてきた実績と努力をどう評価するのか (2) 幼児教育と小学校教育が接続しているという教育の特色が持つ可能性について、認識を問う (3) 高梁市立幼稚園設置及び学級編制に関する基準（内規）第2条ただし書にある「見込み」について、柔軟な解釈は可能か 4 ラ・フォーレ吹屋の再開に向けた整備は今の方針で本当にいいのか (1) 過去の撤退理由と事業の検証は不十分ではないか ① なぜ撤退したのかという根本原因を分析したのか ② 再開をすることで採算性はあるのか (2) 市が設定した運営コンセプトに沿った運営の末に事業が失敗をした際の責任は、どこが負うのか ① 運営コンセプトは本来、事業者が提案するべきではないか ② 吹屋地域の「総意」としての整備方針なのか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
6	6 番 長 田 伸 彦	(3) 今こそ施設利用の方向転換を検討すべきではないか ① 過去の歴史が示す繰り返しになっていないか ② 財政状況や市民感情をどう受け止めているか ③ 賃貸住宅やシェアハウスなど住む場所としての転用は検討できないのか
7	5 番 小 黒 ゆかり	1 商業施設での期日前投票所の設置について (1) 現在の準備状況と市としての今後の方針について問う (2) 実施後の検証をどのように行うのか問う (3) 市民への周知方法について問う 2 地域における役職の在り方について (1) 愛育委員への評価と課題について市の認識を問う (2) 地域では愛育委員のほかにも町内会長や栄養委員など様々な役職があるのだが、人材が不足している。この課題について、今後見直しの予定があるか問う
8	2 番 前 野 洋 行	1 岡山県ごみ処理広域化計画について (1) 岡山県ごみ処理広域化計画の現状と高梁地域事務組合クリーンセンターの整備方針について問う 2 高梁市斎場について (1) 高梁市斎場の整備方針について問う ① 調査費等の予算措置の中でのこれまでの取組状況はどのようなになっているのか ② 地元からの要望に係る対応はどのようなになっているのか ③ 整備に向けての方針や年次計画はどのようなになっているのか 3 財産活用について (1) 本年度から新設された「公共施設解体に係る交付税措置」の内容について問う 4 学校統廃合に伴う跡地活用について (1) 高梁市立学校園適正配置計画に位置付けられている跡地活用の中で、「避難所としての防災機能」をどう継続していくのか (2) 合併後の閉校跡地の活用と廃校プロジェクト登録後の状況について問う 5 観光振興について (1) 大阪・関西万博への出展について問う 6 山田方谷 150 年祭記念事業について (1) 5 月 11 日開催のフォーラムを契機とした今後の展望について ① 高梁を学びの場とするため、有終館を復元してはどうか ② 新見市と連携した記念切手の発行はできないか ③ 方谷生誕の地である中井小学校は本年度末をもって閉校となるが、閉校に向けて、中井地域と連携した取組を実施してはどうか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
9	11 番 宮 田 好 夫	1 休校（園）・廃校（園）になった校舎（園舎）の管理について (1) 休校と廃校との区分はどのようにされるのか (2) それぞれの管理はどの部門が担当するのか (3) 校庭（園庭）や遊具の管理はどうするのか (4) 廃校（廃園）後の利活用はどう考えているのか (5) 防犯対策として防犯灯や防犯カメラを設置するべきではないか 2 高梁市内の高等学校について (1) 備北圏域唯一の市立定時制高校について、今後も維持すべきと思うが、市の考え方はどうか (2) 高梁城南高校の今年度の入学者は 100 人を上回ることができたが、学校存続に向け市はどのような支援を考えているのか 3 行財政改革について (1) 令和 6 年 3 月に高梁市行財政改革プランが示されているが、市長はこの方針に基づいて行財政改革を進めるのか
10	4 番 藤 岡 善 行	1 市民の暮らし、福祉、日々の生活の厳しさに対する認識について (1) 物価高騰の下での市民の暮らし、福祉、日々の生活の厳しさについて市長の認識を問う (2) 幸せが実感できる市政とは何か、具体的に問う 2 水道料金について (1) 水道料金について、基本料金 10 立方メートル以下の世帯数と、そのうち 5 立方メートル以下の世帯数を問う (2) 市民の暮らしの厳しさを少しでも緩和するため、水道料金の軽減措置（基本料金 1 年間無料）を行うことが必要ではないか (3) 水道料金について、現行の基本料金定額制を改めて、10 立方メートルに達しない 5 立方メートル以下の少量使用世帯への料金軽減のため、実態に見合うよう基本水量基準の設定をすべきではないか 3 介護報酬等の見直しについての本市での対応について (1) 国に対して介護報酬の緊急引上げと、介護、障害福祉等に携わる職員の賃上げのため国庫負担割合を増やすよう要請すべきと思うがどうか (2) 訪問介護事業所は、基本報酬引下げによって厳しい経営を強いられている。本市独自の支援策について問う 4 政府に対しての要請について (1) 消費税を緊急に 5 % に引き下げて年 12 万円の減税を実施するよう、政府に求めていく必要があるのではないかと (2) 物価の上昇に見合う最低賃金の引上げと中小企業への賃金引上げ支援を国に要請する考えはないか 5 年金生活者の支援について (1) 年金生活者の暮らしは極めて深刻である。毎年、年金額が下がる傾向が続いている「マクロ経済スライド制度」を見直し、年金引上げを行うよう、今こそ国へ強く求めるべきではないか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
10	4 番 藤 岡 善 行	6 大阪・関西万博を修学旅行の行き先としていることについて (1) 万博のスポンサー企業から寄付を受けたことについて問う (2) 万博を修学旅行先とした学校に対しての教育委員会の対応について問う (3) 参加者と参加しなかった者への対応について問う 7 農業の振興について (1) 本市の農業経営者の実態と、その状況について問う (2) 農業経営者への支援状況と今後について問う 8 鳥獣被害対策について (1) 被害をもたらす鳥獣の種類とその対策について問う (2) 猟友会との連携、支援状況について問う (3) 農作物以外でのイノシシ被害について問う (4) イノシシ、鹿の処理施設の新設について問う
11	13 番 倉 野 嗣 雄	1 行財政改革について (1) 高梁市公共施設再配置計画は現在どのようなになっているのかを問う (2) 高梁市定員管理計画は現在どのように行っているのかを問う (3) 地域局や市民センターの今後の在り方を問う 2 地域振興基金について (1) 現状と今後の見通しについて問う 3 森林環境譲与税について (1) 基金の現在の状況と今後の計画と考え方を問う 4 市道管理について (1) 市内の各町内会が行う市道の草刈りや側溝管理について問う
12	3 番 川 上 雅 美	1 物価高騰について (1) 物価高騰などを受けた経済対策のため、国では補正予算をめぐる議論が活発となっているが、つなぎとして市の支援が必要だと考えるがどうか (2) 物価高騰などにより将来不安を感じている事業所に対して相談窓口の設置が必要と考えるがどうか 2 廃校活用について (1) 廃校活用に関する基本的な方針の有無を問う (2) 廃校活用と関係人口の創出について、市の考えを問う (3) 地元住民・団体との連携体制について、市の考えを問う (4) 財源・予算措置について、市の考えを問う 3 夫婦岩について (1) 県指定名勝の指定を受け、市としてどのように評価しているか (2) 現在、夫婦岩への案内や説明を行う看板はどのような状況か。また市として把握している課題があるか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
12	3 番 川 上 雅 美	(3) 夫婦岩周辺やアクセス道路沿いの案内看板の設置を検討すべきと考えるがどうか (4) 夫婦岩を観光ルートに組み込んで活用できないか 4 日本遺産について (1) 今までの取組と成果について、市の考えを問う (2) 今後の計画について、市の考えを問う
13	7 番 松 岡 隆 雄	1 県立高校の再編整備について (1) 高梁市内の県立高校に関する今後の在り方を、市長、教育長が県議会議員とともに、県教育委員会へ直接提言を行ったと伺っている。それに対しての県の反応、また今後の方針や進展見込みについて問う (2) 高梁高校及び高梁城南高校は、寮を有する学校として、県の「高校リフレッシュプラン」を用いて、現在、寄付金を募るなどの取組を行っている。これに対して、市としてどのような支援や連携を考えているのか 2 市内の中小企業に対する市の支援について (1) 現在、商工業の中小企業に対してどのような支援を実施しているのか。その具体的な内容を問う (2) 市内の中学校、高校と地域企業との連携による職場体験やキャリア教育が重要とされる中、現在、教育現場でどのような企業連携活動が行われているのか。また、その活動が市内の企業にどう生かされているのか 3 ごみの回収について (1) 可燃ごみの収集回数や方法、また高齢者世帯への回収支援について、今後の計画を問う (2) 現在、粗大ごみの持込みは平日に限られている。土日や祝日の回収を実施する考えがあるのか
14	8 番 平 松 久 幸	1 特別養護老人ホーム鶴寿荘について (1) 施設改修について ① 施設の耐用年数を問う ② 施設老朽化に対し、今後大規模な改修を予定しているのか ③ 改修にかかる費用を問う (2) スタッフ数、人材の確保について問う (3) 入居待ち人数について問う (4) 経営状況を問う ① 現状のスタッフ数と入居者のバランスはどうか。また、経営が健全であるにはそれぞれどのような人数が理想であるのか ② 経営は、毎年1億数千万円の純損失となっているが、令和7年度はどのような見込みか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
14	8 番 平 松 久 幸	(5) 現在の状況が続けば、あと何年で基金が枯渇するのか。また、このような厳しい状況を踏まえて、今後どのような経営改革を進めていこうとするのか (6) 将来的に、公営で維持する必要があるのか (7) 民間から施設の運営への提案があったと話を聞いたが、事実関係はどうか ① 進捗状況を問う ② 民間からの条件を問う (8) 将来を見越す上で、早急に廃止の判断をする時期ではないか 2 ラ・フォーレ吹屋について (1) ラ・フォーレ吹屋の必要性と再開の見通しについて問う (2) 市が関わる必要性を問う (3) 市として廃止する判断はあるのか (4) 民間へ売却するべきと考えるが見解を問う 3 高梁国際ホテルについて (1) 市の公金が入っている。(株)高梁国際ホテルの決算書の内容を把握しているのか ① コロナ融資金 5,000 万円について借入れがあるが、市へ説明はあったのか。また、使途と返済状況を問う ② 経営コンサルタントは市や経営者側にどのように関わり、どのような成果があったのか問う (2) 市に対し 23 年間の賃貸借料（年額 3,000 万円）6 億 9,000 万円のうち 1,500 万円余りしか支払われていない。どこまで免除するつもりなのか (3) 市が関わる必要性を問う。ホテル経営経験や経営能力がない市がこれ以上関わるべきではないのではないのか 4 財産活用課について (1) 目的と具体的な取組を問う (2) 現時点で、市営住宅跡地の活用、明治飼料跡地、小・中学校跡地の活用は、どのように考えているのか 5 重点課題への取組について (1) 高梁国際ホテル、ラ・フォーレ吹屋、鶴寿荘は、早急な対応が必要である。集中対応チームが必要と感じるが、取り組めないのか